

永く続く企業は、従業員や地域、取引先、顧客から愛され、応援され、必要とされている存在です。そうした企業では、人々が自らの意志で関わり、信頼関係が長く続くことで、企業はさらに強く成長します。今回の経営研究集会では、愛される企業や経営者になるために必要な考えや手法を学ぶ場にしたいという想いをスローガンに込めました。

実行委員長あいさつ | 山田 桂 第51回 経営研究集会実行委員長



今、どんな企業も“永く続くこと”が難しい時代にあります。変化に対応し成長するためには、視野を広げることが欠かせません。経営研究集会は、新たな学びや、支部・業種を超えた多様な仲間とつながることができる場です。異なる価値観や経験に触れることで、自分の考えが磨かれ、視野が広がります。それは経営課題の解決だけでなく、未来を描く力を育むきっかけにもなります。

そして未来を切り拓くのは、今日踏み出すその一歩です。いつもの環境から一歩踏み出すことで、自身や自社を変える新たな可能性が生まれます。今回の経営研究集会では、愛される企業になるための考え方や手法を仲間と共に学び、永く続く企業が増えるきっかけとなるように、実行委員会の全員で一生懸命作り上げますので、ご参加をお待ちしています。

行事概要

開催日時

2025年11月26日(水) 12:30～21:00

プログラム

かずさアカデミアホール

- ▶ 11:30～12:30 受付
- ▶ 12:30～15:20 開会・分科会
- ▶ 15:50～16:30 全体会
- ▶ 16:40～18:25 基調講演

東京ベイプラザホテル

- ▶ 19:00～21:00 懇親会(会場移動)

10:00から会員企業のPRブースを開設しています

詳細等特設HPにて掲載予定です



※昼食については購入できる場所が限られるのでご注意ください。

会場案内

▶ かずさアカデミアホール(分科会・全体会・基調講演)

千葉県木更津市かずさ鎌足2丁目2-3-9 TEL:043-820-5555
※木更津駅から会場までバス送迎あり

▶ 東京ベイプラザホテル(懇親会)

千葉県木更津市新田2丁目2-1 TEL:043-825-8888
※JR木更津駅徒歩10分 ※アカデミアホール会場から送迎あり
※車でご移動の方は、駐車場に限りがありますので周辺駐車場をご活用ください。

電車参考

- ・JR千葉駅 8:44発→木更津駅 9:21着
- ・JR千葉駅 9:39発→木更津駅10:18着
- ・JR千葉駅10:40発→木更津駅11:22着

送迎バス時刻表(移動時間25分程度)

- ・木更津駅発→かずさアカデミアホール着 9:45発、10:35発、11:40発、(12:40発)
- ・帰りのバス(かずさアカデミアホール発→東京ベイプラザホテル着→木更津駅着) 18:30頃発、19:00頃発

※交通状況によって発着時間が前後することがあります。
※乗車希望の方は参加登録の際アンケートにてご回答ください。

参加費/定員

懇親会無し:7,000円(定員450名) 懇親会有り:13,000円(定員200名)

※千葉同友会はインボイス発行事業者ではありません。

申込方法/支払い方法



参加登録

e.doyuにてお申し込みいただき、その後、オンライン決済にて参加費を決済してください。



お支払い

オンライン決済システム(クレジットor銀行振込)
下記URLもしくはQRコードよりアクセスいただき事前に決済してください。
<https://chiba.doyu.jp/51kenkyusukai-kessai> (決済締切11月19日(水))

申込締切:11月12日(水)/入金締切:11月19日(水)

※11月13日以降のキャンセルは参加費全額をいただきます。 ※11月19日までに決済できない方は事務局までご連絡ください。

お申込み先・お問合せ

(一社)千葉県中小企業家同友会 事務局 TEL.043-222-1031 FAX.043-222-8207
〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見2-22-2 千葉中央駅前ビル7F

注意事項

・本行事への登録内容は行事設営のために千葉同友会管理の下に参加者名簿などに活用されます。・本行事の様様を撮影、録音し、記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させて頂く場合があります。参加者の皆さんの写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら千葉同友会事務局まで事前にご連絡ください。

第51回 千葉県経営研究集会

愛される企業へ

～永く続く企業となるため仲間と共に学び、未来を描く～

開催日時

2025年 **11/26** (水) 12:30～21:00

10:00～ 会員企業PRブース OPEN!

会場

かずさアカデミアホール

12:30～18:25 分科会・全体会・基調講演

東京ベイプラザホテル

19:00～21:00 懇親会

基調講演 | 加藤 明拓氏 (株)タイガーブランディング 代表取締役

千葉県出身。カンボジア、ナイジェリアにてプロサッカークラブを運営。金融事業、ホテル事業、飲食事業など幅広く経営を展開。



応援される力が企業を育てる ～夢が地域を動かす

あなたの事業は、地域の未来を変える力を持っています。

今年の経営研究集会では、カンボジアの小さなサッカークラブから街を動かし、人々の暮らしを豊かにし、国民に夢と誇りを育んできた「タイガーブランディング」の加藤明拓氏をお迎えします。

「応援されるクラブづくりは、まず“応援できる暮らし”を届けることから始まる。」クラブの成長は地域住民の生活向上と直結し、やがて国の成長へと繋がる——加藤氏はこの理念とビジョンに

基づき、住宅や生活インフラの整備に取り組み、スタジアム建設を核に街づくりを進めてきました。

そこで育まれるのは、地域に根差し、地域を愛し、そして地域から愛される“夢と希望を与える経営”です。

規模にかかわらず、私たち一人ひとりの「志」が地域を動かし、ひいては日本の未来を変えていきます。本講演を機に、自社と地域の関係をどう築くか、そして「愛され、永く続く企業」へ進化するヒントを共に持ち帰りましょう。

主催:(一社)千葉県中小企業家同友会

後援:千葉県、木更津市、君津市



本質を学び実践できる6つの分科会



第1分科会



大矢 みな氏
(株)花茂 代表取締役
(経営指針委員会・市原支部)

設立年:1946年/資本金:2,000万円/年商:3億2千万円/従業員数:23名(内パート・アルバイト7名)/主な事業内容:フラワーギフト小売業・卸売業、フラワースクール



梶 真佐巳氏
(株)ラダー 代表取締役
(経営指針委員会・船橋支部)

設立年:1975年/資本金:1,000万円/年商:2.3億円/従業員数:64名(内パート・アルバイト60名)/主な事業内容:飲食店経営

経営指針

経営指針の作成と実践

経営指針成文化セミナーで、愛される企業へと変貌を遂げた経営者たち ～私達が見た成長の軌跡～



学ぶポイント

- ▶ 指針セミナーを通じて、どの様な変化があるのかを考察
- ▶ 変化から、指針セミナーの効果効能を検証
- ▶ 指針セミナー修了後、運営スタッフとして更なる学びがあることを考察

今年の分科会は、経営指針成文化セミナーの中枢を担っているお二人の登壇です。委員長の矢野氏と副委員長の梶氏が、指針セミナーを受講することで「愛される企業」へと劇的な変貌を遂げた受講生を、対談形式で深掘りしていきます。セミナーを受講し、どの様に変化を遂げたのか。どの様な会社や経営者が変わるのか? 変化することで、社員は? 会社は? 業績は? なぜ、指針セミナーが支持されるのか? 全ての答えがここに 있습니다。また、スモールディスカッション形式で進めるので、グループ討論が苦手な方でもお気軽にご参加いただけます。

座長 | (有)ライダースクラブ 取締役社長 吉田 祐介氏(経営指針委員会・八千代支部)

第2分科会



佐々木 喜興氏
(株)シーキューブ
ソフト代表取締役
(東京同友会・共育委員会)

設立年:1987年
資本金:3,000万円
年商:4億6千万円
従業員数:40名
主な事業内容:最先端のAI/DX・社会を支えるインフラ・産業を支える通信制御などのシステム開発

共育・求人

採用と社員教育・企業文化の醸成

1+1を3に。目指すのは「人を生かす経営・共に育つ社風」 ～組織崩壊、数度の経営危機から立ち直るきっかけはいつも同友会の学びから～



学ぶポイント

- ▶ 社員に仕事を任せた時の経営者の役割とは
- ▶ 社員が成長する企業文化を醸成するには
- ▶ 幹部(社員)主体の経営、永続的な社員承継の仕組みづくり

(株)シーキューブソフトは、社員の集団退職・組織崩壊をはじめ、幾度も経営危機を経験しながらも「任せる経営の実践」「経営理念を軸にしたよい会社づくり」「持続可能な人材育成・事業承継の仕組みづくり」に取り組み、力強く成長をしています。本分科会では、その過程で経営者や幹部が果たした役割と学びを、過去の失敗も含めて包み隠さずお話いただけます。自社の過去の取り組み(あるいは失敗)に対して、今なら何ができるかを振り返る機会として、そして今の自社に活かせる「気づき」を得る機会として、ぜひご参加下さい。

座長 | (有)加賀計算センター 代表取締役 上原 一平氏(共育委員会・白井支部)

第3分科会



奥脇 学氏
(有)奥進システム
代表取締役
(大阪同友会・障がい者
委員長、中同協・障害者
問題委員会副委員長)

設立年:2000年
資本金:400万円
従業員数:役員2名、社員10名
主な事業内容:WEBソフトウェア開発



藤尾 健二氏
NPO法人ワークス未来
千葉 千葉障害者就業
支援キャリアセンター
センター長

障がい者委員会

障がい者雇用、多様な働き方

今日がスタート! 障がい者雇用の第一歩 ～社員が働きやすい職場環境を作るには実は障がい者雇用が適している～



学ぶポイント

- ▶ 障がい者雇用にはチャレンジしてみたい経営者のきっかけづくり
- ▶ 障がい者雇用に関するどんなサポートがあるのかを知る
- ▶ 職場実習受け入れ企業マップを活用した見学・実習の実践方法

働きやすい職場とはいったいどんな職場でしょうか。障がい者雇用を考えるうえで職場の環境整備は大事な要素のひとつですが、その環境整備は健常者にとっても働きやすさをもたらすことが多く報告されています。障がい者雇用は何から始めたらいいのだろうか。どんなサポートがあるのだろうか。経営者が一人で悩む必要はありません。先進的な障がい者雇用の実践をしている経営者から基本を学び、今日からすぐに実践できる働きやすい職場づくりを一緒に実現していきましょう。

座長 | (株)HighFive 代表取締役 五味 秀俊氏(障がい者雇用の多様な働き方を考える委員会・習志野支部)

第51回

千葉県経営研究集会

愛される企業へ ～永く続く企業となるため仲間と共に学び、未来を描く



第4分科会



奥村 航稀氏
oku(株) 代表取締役
(青年部会・印西支部)

設立年:2022年9月
資本金:100万円
年商:13億円
従業員数:社員数5名
所属クリエイター1000名+
主な事業内容:Webシステム開発、
ネイティブアプリ開発、Webサイト制作、
ECサイト制作、AI開発・研修、
ドローン開発・空撮・点検、コミュニティ運用、
YouTube運用、SNS運用

青年部会

事業開発、ビジネスアイデア

未踏のビジネスを拓く「問い」

～アイデアとシステムで事業を加速する～



学ぶポイント

- ▶ 経営者の初心
- ▶ 勝てるビジネスアイデア(勝ち筋)の創出
- ▶ 勝ち筋のシステム化

16歳で起業し5年目で年商13億円を達成した奥村航稀氏(21歳)が、未踏のビジネスを拓く「問い」の設定法と事業急拡大の核となった「勝ち筋創出メソッド」、AI活用術を公開します。新規事業のアイデアに行き詰まっている経営者、既存事業の成長が頭打ちの方必見! 当日は実践的グループワーク「アイデアジャム・1分思考法」で正しい「問い」からビジネスアイデアを創出し、AI技術で事業を加速する手法を披露。参加者同士が事業アイデアを共有し合います。優秀アイデアには特別賞品もご用意。未踏のビジネスを拓く「問い」から始まる事業開発を体験しましょう!

座長 | (株)HOMIES 代表取締役 プルダッシュ氏(青年部会・千葉東支部)

第5分科会



宮田 博文氏
(株)宮田運輸
代表取締役会長
(大阪同友会)

設立年:1958年
資本金:8,000万円
年商:48億400万円
従業員数:329名
(内パート・アルバイト:31名)
主な事業内容:運送事業

女性部会

人材育成(人づくり) 地域貢献・社会への貢献

優しさが経営を動かす

～ひとを想うことが組織を変え、未来を創る 届けたいのは心の通った価値～



学ぶポイント

- ▶ 共感され、選ばれる企業になる
- ▶ 信頼される企業文化を作る
- ▶ 長く愛される企業になる

ドライバーのお子さん達が描いた「パパありがとう」メッセージをトラックに描くという宮田運輸の「子供ミュージアムプロジェクト」。過去の事故から始まったこの運送業界の優しいプロジェクトを学ぶことで、私たちが本来持っている優しさや思いやり、そして愛される部分をより深く学び、更に磨くことで、「愛される会社」を作っていく。社員の家族や地域の人たちとの繋がりを大切にしながら、「心の経営」「人を思いやる会社づくり」、そんな学びの場を提供します。女性はもちろん、男性の方も学べる場なので、ご参加お待ちしております。

座長 | (株)スズヤス 取締役 岡本 光代氏(女性部会・いすみ支部)

第6分科会

見学分科会
※定員30名



森 俊英氏
(株)フォレストホーム
代表取締役
(環境経営委員会・かずさ支部)

設立年:2009年
資本金:800万円
年商:500百万円
従業員数:13名
(内パート・アルバイト:3名)
主な事業内容:建設業、不動産業

※12:30にアカデミアパークよりバス出発予定

環境経営委員会

環境経営の実践

わが社の存在が地域社会を変える環境経営のかたち

～マーケットインとプロダクトアウトで切り拓くGX住宅と地域の未来～



学ぶポイント

- ▶ 「何のためにやるのか」が問われた時、経営者はどう動くか
- ▶ 摩擦は変革の証 — マーケットインとプロダクトアウトの「実践型融合」
- ▶ 中小企業にこそ問われる「存在価値」のつくり方

「工務店なんて星の数ほどある」「うちなんか潰れても…」—— そんな思いを抱えながらも、森さんは“存在することが環境貢献になる”企業づくりに挑みました。断熱等級6～7、GX志向型住宅への転換。その裏には、社員や関係者との摩擦、そして何度も揺れた信念がありました。新しい価値を創るとはどういうことか? 理念と技術、経営と現場をどうつなぐのか? 本分科会では実際にモデルハウスを見学しながら五感で21世紀型経営のヒントを共に探ります。

座長 | ほけんリゾート(同)代表社員 篠原 毅氏(環境経営委員会・八千代支部)